

Ⅲ. 災害時の避難先・仮住まい先

仮に、ご自宅が大きな被害を受けて、生活を継続することが困難だとした場合を想定してください。

避難先をイメージする		仮住まい先をイメージする	
例)	親戚宅、賃貸住宅、社宅、避難所、福祉避難所等	例)	修理して自宅に住む、親の家、親戚宅、賃貸住宅、応急仮設住宅(建設型)(賃貸型)、公営住宅等
希望順	方法や場所など	希望順	方法や場所など
1		1	
2		2	
3		3	

防災・仮住まいチェックリスト

◎: 万全 ○: 大丈夫 △: 不安 ×: 不十分 を□内に記入してみてください。

耐震診断・補強		防災訓練への参加 (消火訓練等)	
家具転倒防止		地域のつながり (自治会や修理業者など)	
ガラス飛散 防止フィルム		親戚・知人とのつながり	
住宅用消火器・ 住宅用火災警報器		広域仮住まいの準備 (避難候補地へ事前訪問)	
感震ブレーカー・ 懐中電灯等		知識の備え (行政支援など)	



在宅避難や避難所での暮らし方などについては、「東京防災」「東京くらし防災」をご覧ください。



▲東京防災



▲東京くらし防災

大地震が起きて、もしも今のお住まいに住み続けられなくなってしまうたら、、、すぐに仮の住まいが必要になります。ぜひ自分ごととして考えてみてください。



そもそも自宅が被災しなければ、仮住まいの必要はありません。住まいの防災対策を進めましょう。

令和2(2020)年3月発行
編集・発行
東京都住宅政策本部住宅企画部企画経理課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03-5320-5057

印刷
株式会社ファインワークス
※このリーフレットは大学研究者による提案事業として専修大学と連携して作成したものです。
また、掲載の情報は令和2(2020)年3月現在のものです。

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
この印刷物は、環境に配慮したインクを使用しています。

登録番号 (31) 47